

海燕社

の小さな
映画会 2024

4/21(日) 14:00~

沖縄県立博物館
美術館 講堂(3F)

受付13:00 開場13:30 料金 1,200円(予約制) 当日1,500円
予約(海燕社) ☎ 098-850-8485 / ✉ mail@kaiensha.jp

九州・沖縄から
文化力
POWER OF CULTURE
後援：沖縄県、那覇市

※小中高校生は先着10名まで無料

ドキュメンタリー映画

うむい、獅子

-仲宗根正廣の獅子づくり-

(監督 城間あさみ / 製作 海燕社 / 2022年 / 58分)



獅子づくりの技と想い。

沖縄の人々の獅子への想い。

獅子と織りなす「うむい(想い)」の物語。

300年ともそれ以上とも言われる沖縄県の獅子舞の伝統は、年中行事として先祖代々地域ごとに受け継がれてきた。

獅子工仲宗根正廣の手に託されたのは、先祖の獅子への「うむい(想い)」を未来に受け継ぐ貴重な獅子頭の制作。漆塗りの漆芸家・諸見由則とともに約30年地道に丁寧に獅子づくりに励んできた。

仲宗根正廣が縁を結んだ獅子の数は61頭(神獅子製作14頭、神獅子修理11頭、交流獅子製作20頭<神獅子の複製獅子、模作獅子 含>、子供獅子製作1頭、大人ファイバー獅子製作1頭、子供ファイバー獅子製作14頭(2021年12月現在)になる。

本作は、仲宗根正廣が八重瀬町志多伯の獅子加那志(神獅子)の模作獅子を新たに作り上げる工程とその獅子づくりに込めた技と想いを縦糸に、八月十五夜や33年忌豊年祭の志多伯獅子加那志の姿と志多伯の人々の獅子への想いを緯糸に、沖縄の人々の獅子舞獅子への想いと想いをつづったドキュメンタリー。



令和4年度 文化庁映画賞 文化記録映画部門 優秀賞受賞

「古来、獅子舞は、アジア各地、そして日本でも全国的に見られる伝統芸能文化。その中でも、シーサーに象徴されるように沖縄での愛され方は特徴的だ。本作は、木彫刻師・仲宗根正廣氏に密着した獅子作りの記録映画であり、獅子のコミュニティにおける有り様、取り巻く人間模様を通して、獅子舞の風習それ自体も丁寧に描かれている。沖縄の人々の獅子に対する溢れる想いが昇華して、風土、文化、人情が薫ってくる快作となった。」

(三浦 啓一／文化記録映画部門選考委員)

※文化庁ウェブサイトより転載

【お知らせ】今年2024年(令和6年)は獅子加那志の13年忌にあたっており、八重瀬町字志多伯では旧暦八月十五日、十六日に「獅子加那志13年忌豊年祭」が行われます。

上映作品、上映日は都合により変更することがあります。詳細は、海燕社のウェブサイト(<http://www.kaiensha.jp>)やSNSにてご確認ください。

古書店 うみつばめ

URL:<http://kaiensha.stores.jp>

✉ @KoshoUmitubame

海燕社のウェブ古書店うみつばめ。年中無休で開店しています。こだわりは、画家 石垣克子デザイン、オリジナルブックカバー(単行本・新書・文庫本)とオリジナルしおり(3種類)です。いずれかをご購入の本におつけします。本とご縁がありますように。



ウェブ古書店